

「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言

市は、共生社会実現の推進に向け、市と協力して取り組みを行う団体と共同宣言を行い、取り組みの輪を広げています。令和6年8月末までに、81団体から賛同いただき、共同宣言に署名を行いました。共同宣言団体が行っている取り組みの一部を紹介します。

互いを尊重し合う皆さんの気持ちが本市の共生社会の推進につながります。その他の団体の取り組みについても、右の2次元コードから、市ホームページで確認してください。



《参加者の声》
 ▼さまざまな状況の人々と、相互に尊重し合いながら共生する社会に必要な視点を養えるように取り組んでいます
 ▼障害は、当事者の問題ではなく、社会が理解できていないことから生まれるものです。介護福祉士として学ぶ私たちだからできることとして、誰もが暮らしやすい社会を目指していきたいです



《DEET(障害平等)研修の実施》
 2年生が「インクルージョン(障害の有無にかかわらず、学ぶ機会や働く機会を平等に得られる環境を目指す考え方)」と「多文化共生」をテーマとして、DEET研修に取り組み、多文化共生社会における合理的配慮のための視点や考え方を学びました。



群馬パーパス大学福祉専門学校

《市長 山崎尚平のコメント》
 私たちは聴覚障害者と共に活動し、手話の啓発・普及に努めています。9月23日の「手話言語の国際デー」には、手話言語の普及と聴覚障害者理解促進のため、地域の関係団体と連携し、全日本ろうあ連盟発祥の地・伊香保のブルーライトアップを行いました。いつでもどこでも手話でコミュニケーションできる社会を目指し、今後も活動を続けていきます。



《手話言語の国際デーブルーライトアップの実施》
 9月23日は「手話言語の国際デー」です。世界ろう連盟が「手話言語にブルーライトを当てよう」イベントを提唱し、全国各地でブルーライトアップが実施されています。市内における啓発活動として、市聴覚障害者福祉協会、手話サークルおろづるの会、北毛地区手話通訳者協会と協働し、市内各所のブルーライトアップを実施しました。

手話サークルあじさいの会

《今年も開催します！「つながるフェスティバル」》
 とき 11月10日(日)午前10時～午後3時
 ところ ▼子持会場(子持福祉会館・子持ふれあい公園) ▼赤城会場(だれでも広場・赤城健康公園)
 内容 参加者による多種多様な出展(キックターゲット、eスポーツ、キッチンカーなど)を盛りだくさんで開催

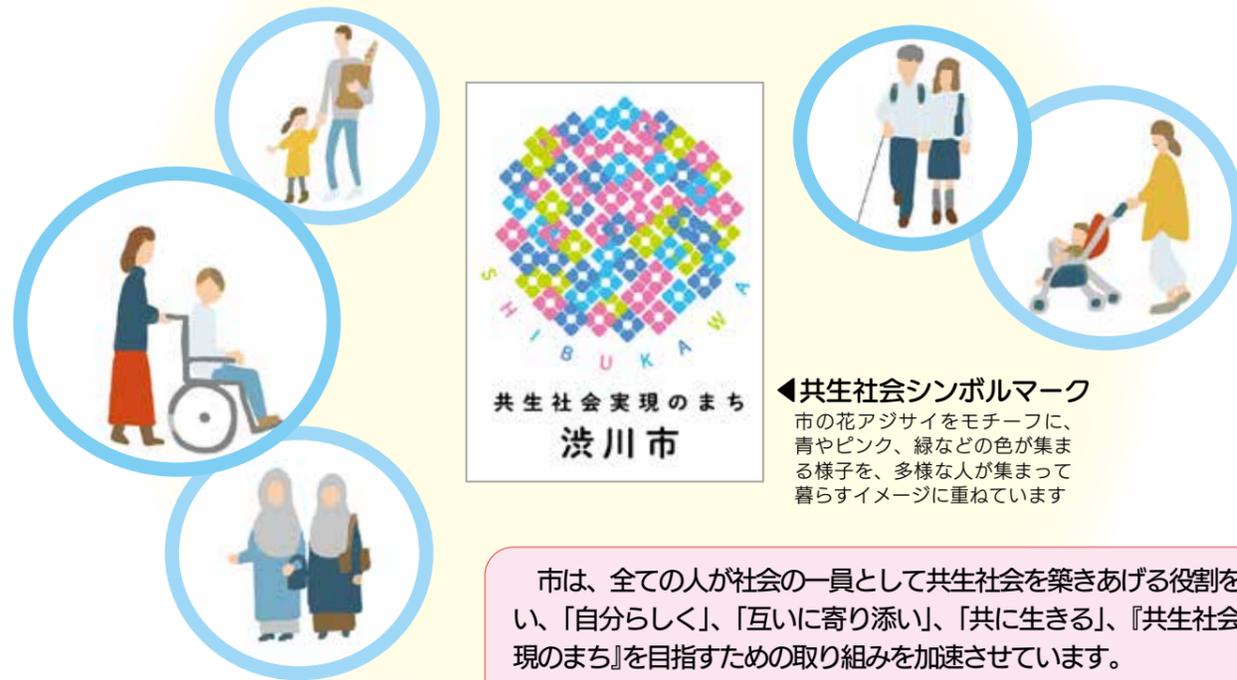


《つながるフェスティバル》の開催
 新型コロナウイルス拡大の影響から、人と人と社会などのつながりが希薄になる中、昨年「もう一度つながろう！」を合い言葉に、市内最大級の福祉イベントを開催しました。たくさんの方のボランティアや若者、企業、福祉関係者が参加し、世代や組織の壁を越え、多様な人々が思い思いにつながりを持ちました。誰もが参加できる多種多様なブースを設け、多世代の交流を促し、「福祉」に親しむ機会を提供することで、地域の福祉課題を考えるきっかけや次世代のボランティア育成につながってまいります。

市社会福祉協議会

10月1日～31日(木)は共生社会推進月間です

共生社会の実現に向けて 集中的に取り組めます



《共生社会シンボルマーク》
 市の花アジサイをモチーフに、青やピンク、緑などの色が集まる様子を、多様な人が集まって暮らすイメージに重ねています

市は、全ての人が社会の一員として共生社会を築きあげる役割を担い、「自分らしく」、「互いに寄り添い」、「共に生きる」、「共生社会実現のまち」を目指すための取り組みを加速させています。共生社会ホストタウンに登録された10月を「共生社会推進月間」とし、共生社会実現に向けた取り組みを集中的に実施します。詳しくは、政策戦略課(☎028419)へ。

【令和6年度共生社会推進月間に実施する取り組み】

No.	取組内容	所管課
1	市内の小学4年生と中学3年生に啓発パンフレットを配布し、心のバリアフリーを推進します	政策戦略課
2	市内の中学2年生に、多様な性への理解を深めるための啓発リーフレットを配布します	
3	「インクルーシブな社会を築き、共生社会の構築実現の第一歩を」というテーマで講演会を開催します	市民協働推進課
4	市内イベントや休日当番医などを英語で紹介する「しぶかわカレント」を配布します	地域包括ケア課
5	市内の福祉事業所が、各事業所の活動内容に関するパネル展示と自主生産品の出店販売を行います	こども支援課
6	市内5つの保育所や認定こども園、幼稚園に対して、手話通訳士および聴覚障害者を派遣し、園児に対する手話体験を実施します	スポーツ課
7	年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、さまざまな人が一緒に楽しめるユニバーサルスポーツの体験教室を開催します	市立図書館
8	市内在住の障害がある人や妊婦などで1人では来館できない人を対象に、市立図書館所蔵資料を職員が無料配送します	市美術館
9	常設展示室の彫刻は、年齢や障害の有無にかかわらず、手で触れて鑑賞することができます	観光課
10	<p>《令和6年度の新たな取り組み》</p> 市内の宿泊施設関係者を対象とした「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の認定要件である「年1回以上の従業員教育」の代わりとなるセミナーおよび新規認定申請時の申請ポイントの解説を行い、1人でも多くの方がより安全で快適な旅行を楽しむことができる環境整備の推進を図ります	

※上記10種の取り組みを含め、令和6年度の共生社会推進月間の取り組みとして、計28種類の事業を実施する予定です